

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130		
項目名		[B 除いた共通語]	
みずおち 078		[C 除いた特殊語]	(/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6747.70	* midzootsi	
	? munaotsi	
	? midzootsi	
0896.22	iz-ot4 [iz-ot4]	
1708.05	mizotsi <早くいとオカぬけ>	mizotsi
1762.10.	? iz-ot4	iz-ot4
1862.48	iz-ot4 <「iz-ot4」は大人に交るから、 子どもはオカ(区別)しなから。>	
1942.03	mizotsi <子どもは使わない>	
2981.34	# midzodasi	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (3)
	130		
項目名			
みずおち 078			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3741.16	mizwotʃi <新しうにば〜ん>	
3756.26	ゑす-オトス <#>	
3764.92	ウナモト (これはウナモトの範囲かなんぞ指してお、ん)ゑす-オトス	
3983.58	#ゑす-オス	
3791.02	# mizootosi (M) mizwotʃi	
3795.86	ゑす-オトス 心臓を指すにちあはる由。	
4619.98	midzwotosi (2)	
4639.10	2 midzwotosi	
4647.89	ゑす-オキ [キ]は[ʒi][ʒgi]が根にも きおれんか:[ʒi]に近うきに思われん。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	130		
項目名		[B] 除いた共通語	(4)
みずおち 075		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4658.42	mizwotji (最初「hara」と答えた。又ハは みずおちの腹全体までを意味する。命 の元と取りあけなく、〈mizwotji〉 とその下のみずおちの真上までを いうと云、) (後2の語もみずお ちとはちまの243所をアサハと云 挙げる。)	
4687.01	mizwotji 〈旧〉 mizootji 〈新〉	
4695.19	# ? ハ? ハ? (?)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ (5)
	130		
項目名			
みずおち 078			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	みずおちと云う語があるものと 思ふ。思ひまじ呉れなから、	
4711.42	midzwotsi (2) (第三着 (新庄山学校長) の著述)	
4725.68	midzmodosi < 骨に木を落すと云ふ >	
4743.61	midzwodosi < 骨の入り口をから "木落と" と云ふ >	
4760.98	midzootsi vv	vv の件台化と山ほと-いちろく ない
4773.27	midzootsi < 共 >	midzmodosi

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (6)
項目名			
みずおら 078			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4780.64	(?) muna ² no do <多<用い<2>	mizoot ² i
5539.43	無回答 知らないとい<3>。	
5547.96.	いすおら ² い=tsi	
5565.17	mizoot ² i おはらに近<4>い	
5603.35	[mizumt ² i] 毒<5>。	
5604.28	N.R. <mizumt ² i と<2>う<6>を<7>か<8> 自分<9>は使<10>わぬ。>	
5604.65	#米 いす<11>う<12> ハ<13>を訂正。	
5607.26	mi ² z ² umt ² i <14>	mi ² z ² oot ² i
5611.81.	mizoot ² i [oo]oi [oi]おは<15>きり<16>し<17>な<18>!!	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (7)
	130		
項目名			
みずおち 073			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
56 13. 53	N.R. (被調査はみずおちは hard の一部 あ、とりは ^は 知らない と答えた。然し この土地の一部は mi2ootsi と記す。)	
56 13. 80	? mi2obu2ji	
56 14. 68	N.R. (hard と答えたが、これはみずおちのみ は (知らない) ととりあけなし。) 部落のその人は [mi2umtji] と記 す。被調査者は「認めなし。」 (特に名はない) と答えた。)	
56 20. 30.	mi2ootsi o = 使わず。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (8)
	130		
項目名			
みずおち 078			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5631.16	N.R. [midzuotji] 〈水 24と-2あり〉	
5635.48	ミゾオチ 〈水 音〉	ミズオチ
5652.06	midzuotji 〈希〉	
5657.78	ミズオチ 〈ナ〉	ミズオチ
5677.57	mizootji 〈希〉	mizootji
5688.86	ミゾオチ 農業には「イハ」, 一般では「ミゾ」 この地域では「ミゾ」 被調査者の印象から「ミゾ」	
5677.53	? munaotji 〈これはあまり使われない〉	mizootji

C 注記
a 同
b 違

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 170	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (9)
項目名 みずおち 073			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5703.03	midzūotosi (使) = ともあま >	midzūotſi
5712.70	mizootſi [mizūotosi]	
5733.02	mizūotſi [mizūotosi]	
5740.87	ミズオチ → 一般的な言い方	ミズオチ
5792.02	# mizūotosi 水はカ(コ)音	
6369.32	ミズオチ 水	ミズオチ
6388.52	N.R. <hara? >	
6389.22	ミズオチ (水)	水
6402.14	ミズオチ <新>	
	[カコハジレ] (水) (水音 = カコハジレ)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (10)
項目名			
みずおち 075			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	(ハニレ=オチ)	
6415.80	munasaki (ムナサキは、どうも正確で mezwotji あるが不明。ミスオチと言わないが 南の元、今頃 ×ミスオチと言った 知らないという返事であつた。何れに しても不明と言つた外はない)	
6426.04	# mizwotji (ムサオチとも)。と小学校の 山下先生は言う。本人はあまり 知らないらしい]	
6430.26.	kagohazure (茅(カウコウ)は根、葉) mizwotji	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (//)
	130		
項目名			
みずおち 078			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6443.03	inoe	その他
6474.83	iy-ot4 <新> iy-uw4 <舊>	
6479.26	# ut-ot4 [iy-ot4]	
6485.30.	utiy. <utiy-om-wai-ot4, yut-mo-ot4 iy-ot4-ho-ot4-wai-ot4, なと病人に取かぬる。>	
6481.47	? munasak: (絵中説明に付くなく、調査者、 胸を上部から順次に示してその位置を 示した。この答えに吾人は納得しない。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (12)
	130		
項目名			
みずおち 078			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6494.21	㊦カ"× 	
6504.44	midzootʃi 墨先	mi-naotʃi
6507.72	? ㄥ+ㄱ	ㄷ-ㄱ
6516.15	#? ㄷ-ㄱ	
6522.03	ㄷ-ㄱ ○ㄷ-ㄱのㄱが一般的でㄷ-ㄷ-ㄱは ㄱ-ㄷ-ㄱの形	
6526.04	? ㄷ-ㄱ	ㄷ-ㄱ
6539.21	mizootʃi <新> <今では mizootʃi というが昔は これにある語形-ㄱ, ㄷ >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130		
項目名		[B 除いた共通語]	(13)
みずおち 078		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6542.27	シヨオチ < やヤ新 >	シヨ
6552.71	シルトマリ (シスツマリ 音化)	
6552.90	mizuotʃi < 「シスオチ」か「シヨオチ」か、という mizootʃi 自分ながらとちがう発音かよくおの ないか、Xの中/句がよくな気がする。> (結局とちがも便、というの、UとOの 中/句音かとい) ことば=なごの? 唇の ひらきく動かしオ>にはよるもの、 実際はUの発音を(というたは ないかと思う。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 ページ	ページ
	130		
項目名		[B 除いた共通語]	(15)
みずおら 078		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6568.09	? mizootʃi <南>とはあるか、あまり自分では つかぬ>	
6571.68	N.R. [オクボ] (家人の横から口を出した)	
6572.29	mizuotʃi <多>	
	mizootʃi <稀>	
6584.90	mizuotʃi 土は白先が所ある	
6603.82	ミズオチ (ミズオチ音はミズオチ)	
6624.13	mizo:tʃi 新.	mizoʃita.
6662.01	mizo:tʃi 古. 希	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は密記にする。

質問番号	地図番号 130	① 普通注記	ページ
項目名 みずおち 078		[B 除いた共通語]	(46)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	mizo 今若いもろい。	
6697.59	midootji <新>	midzootji
7218.09	munasaki 	
	mizote 誘	
7239.24	mizootji <ホロホロ>	mizote
7246.45	mizoot ^a は内破音	mizo
7259.22	mizootji <普通>	mizootofj
7279.93	mizootofj 	mizootfj
7307.14	jaara (危所の意味)	
7316.93	midzuote <新>	munzeote

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 130	① 普通注記	ページ
項目名 みずおら 073		[B 除いた共通語]	(17)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7324.24	mizo (ot; i e つけなくていい。)	
7325.84	? midot; e # ? mun; eot; e	
7335.19.	? m; izo: t; i;	
7340.27.	mizo: ot; i; <新> (新しい川をよりに ¹⁰ んが、 よく/河と川とてい ¹⁰ んが ないという。)	
7349.07.	midoot; i; <midoot; i; ga warui > 変とていう。	
7361.17.	#N.R. —————→	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (18)
	130		
項目名			
みずおち 073			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	< [ニゾ'オテ] >	
7363.12.	# ニゾ'オテ (B) → (今当人は使わない。通ずな 話も知らない。言った事もない)	
7375.86.	< 新 > mizuotje < 平常使わない >	
7386.55	mizuote < 口水が落ちるところ >	
7392.33	(?) ㇿㇿ ㇿㇿ	
7395.09	mizo'otʃi < 共 >	mizo'ote
7396.53	[#] oʃi: hazuʃi	# mizuote
7470.72.	# ~idʒuotʃi (ヒントを子に之やと解答)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (19)
	130		
項目名			
みずおち 073			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7501.14	いよ"オチ <オチ>	いす"オチ
7502.91	いす"オチ <オチ>	いよ"オチ
7523.74	mi ^d zuotʃi; mi ^d zuotʃi; ~ mi ^o tuotʃi;	
7659.31	誘 hojinosaki <オ>	mizuotʃi
7659.40	mizunootedo: <オ>	hojinosaki
7659.51	munafita <オ>	
	誘 mizunootedo	
8301.76	いよ"オチ <オ>	いす"オチ
8302.55	# <?> いす"オチ	
8305.73	# mizootʃe <mizootʃe といくち>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 130	① 普通注記	ページ
項目名 みずおち 073		[B] 除いた共通語	(20)
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8312.33	mizootsi <希>	
8316.20.	mizuotje <マ>	
	mizuotosi <マ>	
8323.59	<※> mitotosi	
8324.83	midzotosi (otosi; *初め、おははくと 備えない。)	
8334.25	mizootsi 「4」の音は比較的共通語に 近く備え。	
8335.05	hitjiiekubo <ニニは発音すべし、食の8杯 食之は)に食のり、こいう、石のり>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (2/)
	130		
項目名			
みずおち 078			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	(この語形) は初めて南に珍らしい表記。 語源も被調査者の言う通りである。	
8345.74	mizootsi <共>	o:ihazusi
8352.40	N.R. <名をシな>	
8373.43	munanoto <名>	mizuotōj
0237.84	muniatōsi (/ 有気)	
0257.43	mini'atūsi (' は半長)	* mini'atūsi
0275.97	'kuba < ni'gutji と > 人も有る	
0276.50	nigutsi (胸の義。)	
0274.66	ni:Faragutji (胸腹の義)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 130	① 普通注記	ページ
項目名 みずおら 073		(B 除いた共通語)	(22)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0294.93	mi:haragutʃi: 「胸腹」の義。	
1167.84	? tʃi:mugutʃi: <みくおらの内部の2とを す(2111. 外部の2とは(1)を11.)>	
1213.76	N.R. mizi:utʃi: [他]	
1241.49	(?) ni:para: nu k'wa:gwa:	
1250.59	tʃi:mugutʃi: <tʃi:mugutʃi: を用(112.)> ɪnɪgutʃi:	
1251.73	tʃi:mugutʃi: <tʃi:mugutʃi: を用(112.)> nɪgutʃi:	
1261.32	tʃi:mugutʃi: <tʃi:mugutʃi: を用(112.)> ni:dʒa:tʃi:	
2022.20	N.R. <知(1)を11)>	
2075.22	utaʃi: <utaʃi: を用(使.)>	utaʃi: nu ɸutʃi:

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号 30	A 普通注記 ページ
項目名 みずおち 073		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5642.3/	midzuotʃi <茨>	midzautʃi
6494.2/	いすおち <新>	207x <5>
6547.67	mizūotʃi <新>	mureʃi:ta.

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(/)
みずおら		073	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0724.12	* NR.	? miznotsi
0776.88	mwnabatoke -ke → ye?	その他
0873.94	(ミズオラといふのは南の村である。) N.R. <midzootsi といふはこゝに在る。> (オラといふは下をさし、ミズといふ。)	
1862.48	ハ) <ミ> ヘリウエ <ミ>	ミズオラ <ミズオラ、は大人 な、ミズオラ、ミズオラは ミズオラ(オラ)に、>
3732.26	hettonugi	mīdzōodosi といふは ミズ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130	(B 除いた共通語)	(2)
項目名		(C 除いた特殊語)	
みずおち 078			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4666.99	hara <3>	mizwotji
4721.36	wnagara (ウナガ"3はルナ"を転訛と思ふ。 ウナガ"3"ナニニ水ナガ"3 ナニ"ナニニ、ウナガ"3 ナニニ))	midzūodosū
4745.27	minasippara.	ナガ他
4752.11	ābara (?)	ナガ他
4780.62	? mune	ナガ他
5499.98	ハ	ナガ他
5567.99	abarano sayatta toko (midzotjid ウナガ"3"ナニニナニニ、ナニニ、ナニニ、ナニニ)	ナガ他

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130	[B 除いた共通語]	(3)
項目名		㊦ 除いた特殊語	
みずおち		078	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5614.24	? wwa hara (mana epei kutte wwahara ga de kakumatta 《こはんをたか食の上腹の たか(食)とウ)の。mizumtjiを wwaharaともいふ。2-あり。)	mizumtji
5690.96	hekkomi	midzumtji
6348.77	イトロ ^{<希>} <胃のあたりを>	iy-ro
6357.74	# アハラシ ^{<?>}	ya he.
5688.86	iy-ro. 農家は「ハラ」＝胃腹と言ふ。 この地域の子供、漢字と仮被調査者 の語彙には記載なし。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号 130	A 普通注記 ページ
項目名 みずおち 079		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6368.60	[mizootji]	N.R.
6373.59	(?) hara	×9世
6375.08	munaita	×9世
6402.53.	イ (いすれも胃にみずおち: はかにまわらないと エ (まじ.)	×9世.
6403.60	イ <#>	[ミミオチ]
6410.77.	ミミオチ <#>	
6412.48	<?> ハ. <区別せし腹の一部とする>	×9世.
6472.05	[mizootji] <?>	N.R.
6474.50	N.R.	[ミミウチ]

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130	[B] 除いた共通語	
項目名		[C] 除いた特殊語	(5)
みずおち	078		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6491.49.	(海岸部の大浜部落には mizootsi といふ。) ?munasaki <背部の胸体が痛むのを hitjiku ga itai といふ。>	(絵で説明を付した 調査者の胸に上部から 横次には指し示す位置を 示した。この答えは付人は 納得している。
6501.92.	ハ。 ・「ヒヤチ」はいわなうかとの(質)にカセ。 「ハ」以外には使われないこと。	
6504.01	(ほくせ-mizotji に近し)	mizumotji
6520.79.	ウハ。	カセ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号 130	A 普通注記 ページ
項目名 みずおち 073		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
65 32.70	ハ。	ミヅオチ <改まった感 (-)>
65 32.90	アエ ハ。	ミヅオチは、フビスオのホフニナク 影響に子供がオチオチに用いたか 大人は全然しらないコトハオチオチ。
65 35.70	mizootof; (同席の若婦人の答)	非. N.R.
65 3R. 46	[mizoot;] <mizoot;ikoi, n; oi oi 自分にはわかれぬ。> (オチオチを認めたよりのあり)	N.R.
65 41.27	[ミヅオチ]	N.R.
65 42.58	ハ。	ミヅオチは新しい用語に今オチ

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(7)
みずおち 073			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	区別せすはらといふ。	いY"オチ
6565.22	【初のはらと答えはら。暫時考ええら。	いY"オチ
	いY"オチえら。）	
6577.71	[midzootji] <使わない>	N.R.
6616.71	uwappara	ウガセ
6618.51	hara <胸から下の方全体E[hara]と 言ふこと。区別しない。>	ウガセ
6622.67	midzootji は胸全体のこと。	N.R.
6631.53	mizootji 新。	mizo:tji
6640.96	[mizuotji] (たまに外生木をいふに同じ)	N.R.

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130	[B 除いた共通語]	
項目名		Ⓒ 除いた特殊語	(2)
みずおち 073			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	子息 32 オノ登言 あり、在り 仁彦マ斗は舌走船に(しん) とい、在。)	
6643.72.	miznotʃi	上. miznotʃi; 9 上部(胸部) munaotʃi E munaɣara とい。
6661.02	miznotʃi	<希>
6711.16	(?) hesonwaki	その他
7302.66	kjw=so	munaɬsm ki
7323.02	(何と) の ち の ぬ 2 ヲ 4 歯 1 石 様 2 は N.R. あり。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	130	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(9)
みずおち 073			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7352.97	(ミヅオトとははなれない)	ミヅオチ
7381.97	# <?> イ●ノウ	* ミヅオト
8302.91	<ミヅオチとははなれない>	# N.R.
8306.42	<name と言>	N.R.
8313.72	<名前は無。Kokoとい。>	N.R.
8325.77	</mizote/とい> * 南11211201 自分には使わな。	N.R.
8335.05	mizuotji: <共>	hatji: 3ekubo

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 130	A 普通注記	ページ
項目名 みずおち 073		[B 除いた共通語]	
		③ 除いた特殊語	(10)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
		くこに食をたえと。 飯が8杯食えよ)に 食から。こころのたえと。 > (この語形は初め2南に 珍しい表記。語源も被調査者 の方言通りである。)
8335.83	(1.32まにあらすた2-あ3.)	N. R.
8345.24	#haran ue(uenho) 特定の語はない。	Kaセ
	腹の上 或は腹の上の方と記す。	

